

駅構内位置情報提供に伴う実証実験について

東京地下鉄株式会社 経営企画本部 ICT 戦略推進室
平成27年12月18日

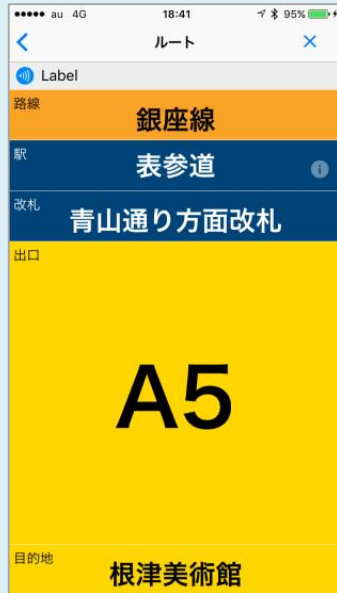
鉄道サービスの一環として、すべてのお客様に向けて駅構内を「分かりやすく」、「快適に」移動できるように、位置情報の提供を目指しております。 これまでに実施した実験等によって得られた結果から、「歩きスマホ」を誘発しないために

- ・ シンプルなスマホ画面通知による移動の支援
- ・ 駅構内のサイン看板等の目標物ベースの移動

を基本としたアプリ開発を行い、検証する予定です。

実施予定アプリ

おてがる出口案内 (12/10～)



おてがる経路案内 (仮) (1月中旬～)

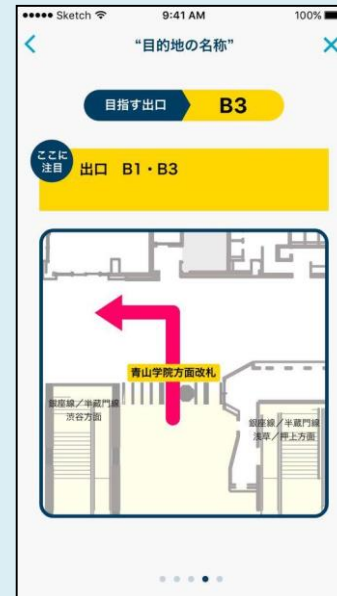


図 ナビ画面イメージ

検証概要

- ・表参道駅B1階コンコースを検証領域として、十数箇所のビーコン(実証実験用に設置したビーコンの一部)設置位置を「パブリック」な地物と見立てて場所情報コード(DB)に必要情報を登録します。
- ・ビーコン (BLE機器) から得られるID情報をキーとしたDB問い合わせを、位置情報等を取得する検証用アプリによって行います。
- ・場所情報コード(DB)と位置情報DBを切り替えて、両者の情報取得にかかる時間の比較を行います。

収集項目

(1) ID情報取得時刻

※情報整理のためのタイムスタンプであり、取得時刻そのものは検証の対象外

(2) ID情報種別 (BLE = UUID+Major+Minor)

(3) ID情報をキーとしたDB問い合わせ開始から位置情報等の取得に要する時間 (レスポンス時間)

実施時期

平成28年2月上旬頃 (終車後実施予定)

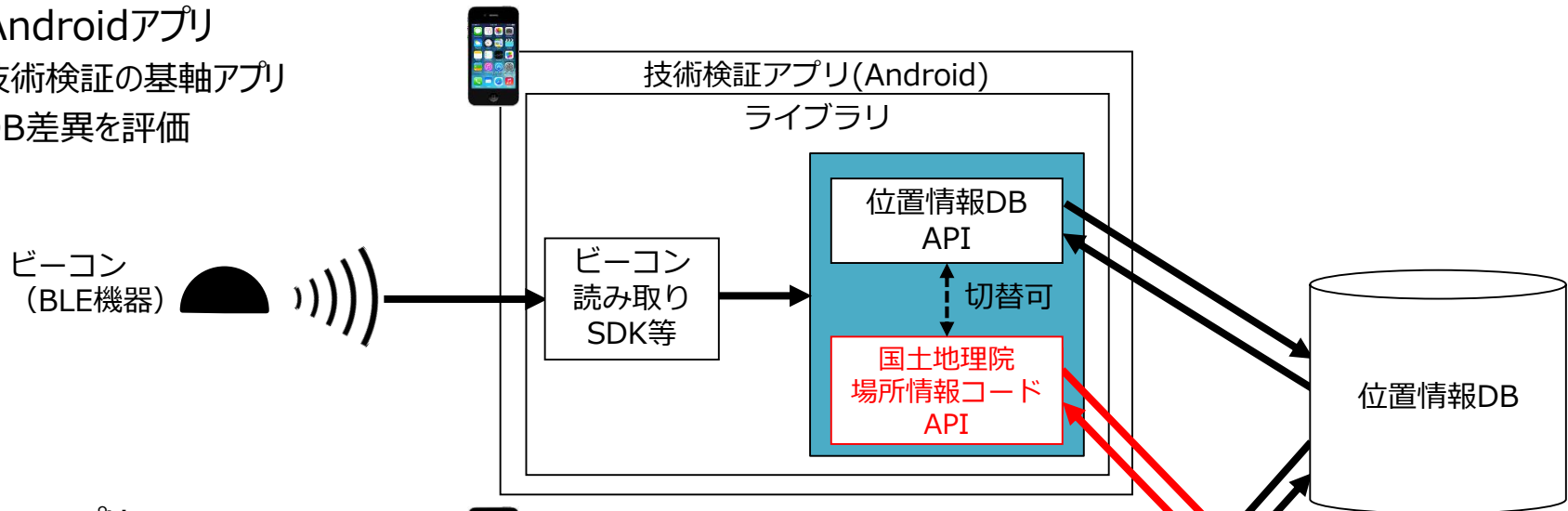
その他

検証用アプリは協力会社により作成

検証用アプリは以下の構成で行う予定です。

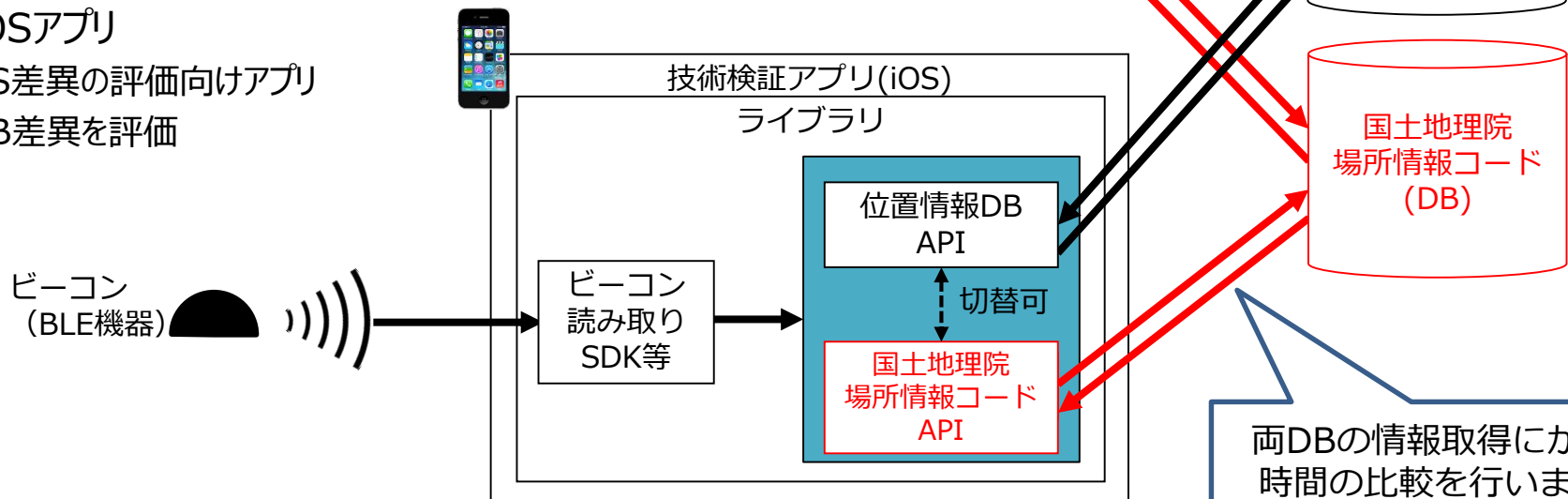
◇Androidアプリ

- 技術検証の基軸アプリ
- DB差異を評価



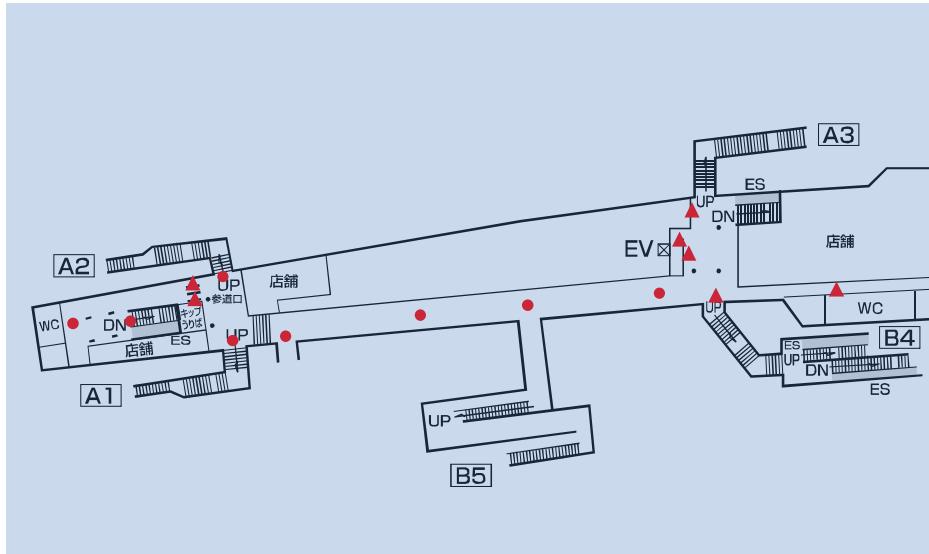
◇iOSアプリ

- OS差異の評価向けアプリ
- DB差異を評価

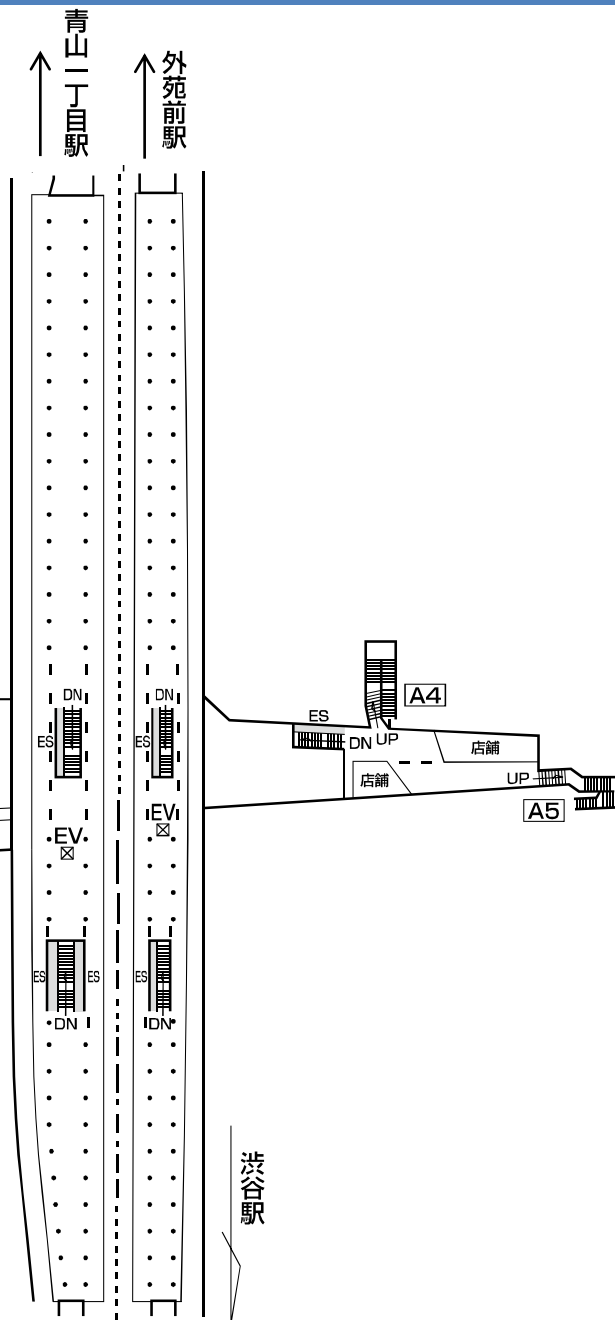


表参道駅B1階

形	ビーコン種類	個数
●	放射型ビーコン	8
▲	指向性型ビーコン	6



上記エリアで検証を実施予定



下表のとおり実験を実施します。ビーコンの撤去は平成28年3月末頃を予定しております。

